

# アクリル絵の具と道具

熊谷美術研究所クマビ

1. B3 パネル
2. 筆
3. 紙パレット
4. アクリル絵の具
5. 絵皿（陶器）
6. 紙テープ
7. 水張り用の刷毛
8. ポンプ
9. 筆洗
10. 定規



## <道具の解説>

- 1 「B3 パネル」 紙を水張りする時に使います。画用紙やケント紙が水気でたわまないようにパネルに水張りという方法で貼り付けます。
- 2 「筆」 筆には色々な形や大きさの物があります。最初は平筆中と大 / 彩色筆 / 面相筆があるといいです。平筆は面を平滑にムラなく塗りやすい筆です。彩色筆は全般的な用途で使えます。面相筆は鉛筆の先程の細さの筆で、細かい所を描く時に使います。
- 3 「紙パレット」 紙パレットは使い捨てで掃除の手間がかからない便利なパレットです。アクリルはすぐに固まるのでパレットの掃除の際は固まった絵の具をとる作業に時間と手間がかかりますが、紙パレットなら時間と手間がかかりません。
- 4 「アクリル絵の具」 アクリル絵の具には色々なメーカーとサイズがあります。メーカーはターナー / ホルベイン / リキテックスが代表的です。最初は小さいサイズの絵具のセットで揃えて少しずつ色々な絵具を買い足します。
- 5 「絵皿」 画材屋さんで販売している絵皿にはプラスチック製のものと陶器のものがありますが、プラスチック製の絵皿はアクリル絵の具が乾燥して固まるとこびりつき、こびりついた絵の具を削り落とすと傷だらけになります。陶器の絵皿の場合はアクリル絵の具がかたまっていても楽に削り落せて、傷も付きません。陶器の皿をお勧めします。
- 6 「紙テープ」 紙をパネルに水張りする時に紙をパネルに貼るテープです。紙テープは切手と同じ要領で裏面ののりを濡らして使います。紙テープは使う分だけを切って、残りは濡らすとのりが溶けてテープが剥がせなくなるので濡らさないように片づけておきます。
- 7 「水張り用の刷毛」 水張りの時に紙を湿らせる時に使います。
- 8 「ポンプ」 パレットに水を送る時に使います。
- 9 「筆洗」 筆を洗う時に使います。筆洗はなるべく大きい物を使います。大きい方が水がたくさんあった方が水が汚れにくく、大きな筆を洗いやすくなります。
- 10 「定規」 溝びき用の溝のあるものを使います。

## 「その他に必要なもの」

ティッシュ、鉛筆デッサン用具、カメラ（記録用）